

大学番号 私立1

注3

設置年度 令和 3年度  
計画の区分： 学部の設置  
注1

**届出**

札幌学院大学 経済経営学部 経営学科  
注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人札幌学院大学  
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	政策推進課
職名・氏名	課長 <small>クボ マサシ</small> 久保 真志
電話番号	011-386-8111
（夜間）	011-386-8111
e-mail	<a href="mailto:seisaku@ims.sgu.ac.jp">seisaku@ims.sgu.ac.jp</a>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

経済経営学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況【省略】	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人札幌学院大学

## (2) 大学名 札幌学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒004-8666  
北海道札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1  
〒069-8555  
北海道江別市文京台11番地（大学本部を兼ねる）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イノウエ トシヤ) 井上 俊彌 (平成26年5月)		
学長	(カワニシ クニヒト) 河西 邦人 (平成31年4月)		
学部長	(カタヤマ カズヨシ) 片山 一義 (令和3年4月)		
学科長等	(シャオ ランラン) 邵 藍蘭 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経済経営学部 経営学科 学士（経営学）	経済学関係	4年	150人	年次 -人	600人	新規入学者を 募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	150 ( - ) [ - ]	-	1.14倍	-	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	842 ( - ) [ 36 ]	-			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	823 ( - ) [ 35 ]	-			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	358 ( - ) [ 30 ]	-			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	172 ( - ) [ 23 ]	-			
入学定員超過率 B/A											1.14		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	172 [ 23 ] ( - )	- [ - ] ( - )		
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	/			
3年次			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )				
4年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )
計							[ ] ( )	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	/
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	172 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】 <該当なし>

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】 <該当なし>

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】 <該当なし>

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】 <該当なし>

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{172} = \boxed{0.00} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<経済経営学部 経営学科>

(1) - ① 授業科目表

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	英語ⅠA	1前	1								4	
	英語ⅠA	1後	1								4	
	英語ⅠB	1前	1								5	
	英語ⅠB	1後	1				1				5	
	英語ⅢA	2前	1								1	
	英語ⅣA	2後	1								1	
	英語ⅢB	2前	1								1	
	英語ⅣB	2後	1								1	
	日本語A	1前	1								1	
	日本語B	1後	1								1	
	日本語C	1前	1								1	
	日本語D	1後	1								1	
	応用日本語A	1前	1								1	
	応用日本語B	1後	1								1	
	論述・作文A	1前	2					1			2	
	論述・作文B	1後	2					1			2	
	コンピュータ基礎A	1前	2			2					2	
	コンピュータ基礎B	1後	2			2					2	
小計(18科目)	-	0	22	0	2	0	2	0	0	0	16	
人文・社会・健康・自然科目群	哲学	1前・後	2								2	
	宗教学	1後	2								1	
	世界の言語と日本語	1前	2				1					
	日本史	1後	2								1	
	北海道史	2前	2								1	
	日本近代史	1前	2								1	
	アジア事情A	1前	2								1	
	アジア事情B	1後	2								1	
	スポーツA	1通	2								2	
	スポーツB	2通	2								1	
	心理学	1前	2								1	
	日本国憲法	1前	2								1	
	くらしと現代経済	1前	2								1	
	社会学	1後	2								1	
	北海道社会論	1前	2								1	
	健康科学	1後	2								1	
	スポーツと健康	1後	2								1	
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	1	0	0	0	14	
キャリア科目群	キャリア数学A	1前	1								1	
	キャリア数学B	2前	1								1	
	ビジネス数学	3前	2			1						
	企業の経営と仕事	2後	2			1						
	小計(4科目)	-	0	6	0	1	0	0	0	0	0	2
専門科目	経営学入門	1前	2			1						
	会計学入門	1後	2			1						
	現代ビジネス論	1前	2			10	2	1				
	簿記Ⅰ	1前	4				1					
	簿記Ⅱ	1前	4				1					
	簿記Ⅲ	1後	4				1					
	工業簿記	1後	4				1					
	小計(7科目)	-	0	22	0	10	2	1	0	0	0	
	ゼミナール科目群	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			6	2	1			
		基礎ゼミナールⅡ	1後	2			6	2	1			
専門ゼミナールⅠ		2前	2			7	2	1				
専門ゼミナールⅡ		2後	2			7	2	1				
応用ゼミナールⅠ		3前	2			8	2	1				
応用ゼミナールⅡ		3後	2			8	2	1				
応用ゼミナールⅢ		4前	2			6	2					
卒業論文		4通	4			6	2					
小計(8科目)	-	0	18	0	8	2	1	0	0	0		
実践科目群	プロジェクト実践Ⅰ	2前	2			2						
	プロジェクト実践Ⅱ	2後	2			2						
	フィールド実践	3通	4			4	1					
	職業と人生A	1後	2								1	
	職業と人生B	2前	2								1	
	職業と人生C	2前	2								1	
	職業と人生D	3後	2								1	
	キャリアデザイン演習A	1後	2								1	
	キャリアデザイン演習B	2前	2								1	
小計(9科目)	-	0	20	0	4	1	0	0	0	3		
基本科目群	マーケティング概論	1後	2			1						
	経済経営学と現代社会	2前	2			1						
	流通論	2後	2			1						
	経営戦略論	2後	2			1						
	人事管理概論	2前	2				1					
	消費者行動論	2後	2			1						
	ロジスティクス論	2後	2			1						
	ITソリューション論	2前	2			1						
	ITコーディネート論	2後	2			1					1	
	中小企業論	2後	2			1						
	ホスピタリティ・マネジメント	2後	2			1						

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	英語ⅠA	1前	1								7	
	英語ⅠA	1後	1								7	
	英語ⅠB	1前	1								9	
	英語ⅠB	1後	1								9	
	英語ⅢA	2前	1								1	
	英語ⅣA	2後	1								1	
	英語ⅢB	2前	1								1	
	英語ⅣB	2後	1								1	
	日本語A	1前	1								2	
	日本語B	1後	1								2	
	日本語C	1前	1								1	
	日本語D	1後	1								1	
	応用日本語A	1前	1								1	
	応用日本語B	1後	1								1	
	論述・作文A	1前	2					1			1	
	論述・作文B	1後	2					1			1	
	コンピュータ基礎A	1前	2			2					2	
	コンピュータ基礎B	1後	2			2					2	
小計(18科目)	-	0	22	0	2	0	2	0	0	0	22	
人文・社会・健康・自然科目群	哲学	1前・後	2								1	
	宗教学	1後	2								1	
	世界の言語と日本語	1前	2					1				
	日本史	1後	2								1	
	北海道史	2前	2								1	
	日本近代史	1前	2								1	
	アジア事情A	1前	2								1	
	アジア事情B	1後	2								1	
	スポーツA	1通	2								2	
	スポーツB	2通	2								1	
	心理学	1前	2								1	
	日本国憲法	1前	2								1	
	くらしと現代経済	1前	2								1	
	社会学	1後	2								1	
	北海道社会論	1前	2								1	
	健康科学	1後	2								1	
	スポーツと健康	1後	2								1	
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	1	0	0	0	13	
キャリア科目群	キャリア数学A	1前	1								1	
	キャリア数学B	2前	1								1	
	ビジネス数学	3前	2			1						
	企業の経営と仕事	2後	2			1						
	小計(4科目)	-	0	6	0	1	0	0	0	0	0	2
専門科目	経営学入門	1前	2			1						
	会計学入門	1後	2			1						
	現代ビジネス論	1前	2			10	2	1				
	簿記Ⅰ	1前	4				1					
	簿記Ⅱ	1前	4				1					
	簿記Ⅲ	1後	4				1					
	工業簿記	1後	4				1					
	小計(7科目)	-	0	22	0	11	2	1	0	0	0	
	ゼミナール科目群	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			6	2	1			
		基礎ゼミナールⅡ	1後	2			6	2	1			
専門ゼミナールⅠ		2前	2			7	2	1				
専門ゼミナールⅡ		2後	2			7	2	1				
応用ゼミナールⅠ		3前	2			8	2	1				
応用ゼミナールⅡ		3後	2			8	2	1				
応用ゼミナールⅢ		4前	2			6	2					
卒業論文		4通	4			6	2					
小計(8科目)	-	0	18	0	8	2	1	0	0	0		
実践科目群	プロジェクト実践Ⅰ	2前	2			2						
	プロジェクト実践Ⅱ	2後	2			2						
	フィールド実践	3通	4			4	1					
	職業と人生A	1後	2								1	
	職業と人生B	2前	2								1	
	職業と人生C	2前	2								1	
	職業と人生D	3後	2								1	
	キャリアデザイン演習A	1後	2								1	
	キャリアデザイン演習B	2前	2								1	
小計(9科目)	-	0	20	0	4	1	0	0	0	3		
基本科目群	マーケティング概論	1後	2			1						
	経済経営学と現代社会	2前	2			1						
	流通論	2後	2			1						
	経営戦略論	2後	2			1						

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基本科目群	ビジネス英語	2前	2		1						
		ビジネス中国語	2後	2				1				
		ビジネス韓国語	2後	2								1
		職業指導	2通	4		1						
		商業概論	2通	4		1						
		財務会計論	2前	4		1						
		原価計算論	2前	2		1						
		ファイナンシャルプランⅠ	2前	2								1
		ファイナンシャルプランⅡ	2後	2								1
		小計(20科目)	—	0	46	0	10	0	1	0	0	0
展開科目群	マーケティング戦略論	2前	2		1							
	経営管理論	3前	2		1							
	経営組織論	3後	2								1	
	起業論	3後	2								1	
	人的資源管理論	3後	2				1					
	マーケティング・リサーチ	3前	2		1							
	交通論	3前	2		1							
	ITソリューション応用論	3後	2		1							
	ITコーディネート応用論	3後	2								1	
	ボランティアマネジメント論	3前	2								1	
	金融システム	2後	2			1						
	国際金融システム	3前	2			1						
	管理会計論	3後	4		1							
	国際会計論	3前	2		1							
	中小企業金融論	3前	2		1							
	キャリアマーケティング	3後	2		1							
	エアライン・サービス演習Ⅰ	3前	2		1							
	エアライン・サービス演習Ⅱ	3後	2		1							
	インターンシップ	3通	4		1							
	日本経済論Ⅰ	3前	2								1	
	日本経済論Ⅱ	3後	2								1	
小計(21科目)	—	0	46	0	9	1	1	0	0	0	4	
国際科目群	異文化グループワークA	1前	2		1	1						
	異文化グループワークB	1後	2				1				1	
	プロジェクトマネジメント入門	1前	2								1	
	海外スタディⅠ	1通	2				1	1				
	海外スタディⅡ	2通	2			1	1					
	グローバルインターンシップⅠ	1通	2								2	
	グローバルインターンシップⅡ	2通	2		1						2	
	長期国際インターンシップ	2後	16		1	1						
	短期国際インターンシップA	1休	4		1	1					1	
	短期国際インターンシップB	1休	4		1	1					1	
小計(10科目)	—	0	38	0	1	1	2	0	0	0	3	
合計(114科目)	—	0	252	0	11	2	3	0	0	0	43	
卒業要件及び履修方法												
【教養科目】 ・【基礎科目群】から8単位以上修得し、合計で24単位以上修得すること。												
【専門科目】 ・【基礎科目群】、【ゼミナール科目群】及び【実践科目群】から12単位以上、【基本科目群】、【展開科目群】及び【国際科目群】から20単位以上を修得し、合計で80単位以上修得すること。												
上記の要件を満たし、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基本科目群	ビジネス英語	2前	2		1						
		ビジネス中国語	2後	2				1				
		ビジネス韓国語	2後	2								1
		職業指導	2通	4		1						
		商業概論	2通	4		1						
		財務会計論	2前	4		1						
		原価計算論	2前	2		1						
		ファイナンシャルプランⅠ	2前	2								1
		ファイナンシャルプランⅡ	2後	2								1
		小計(20科目)	—	0	46	0	10	0	1	0	0	0
展開科目群	マーケティング戦略論	2前	2		1							
	経営管理論	3前	2		1							
	経営組織論	3後	2								1	
	起業論	3後	2								1	
	人的資源管理論	3後	2				1					
	マーケティング・リサーチ	3前	2		1							
	交通論	3前	2		1							
	ITソリューション応用論	3後	2		1							
	ITコーディネート応用論	3後	2								1	
	ボランティアマネジメント論	3前	2								1	
	金融システム	2後	2			1						
	国際金融システム	3前	2			1						
	管理会計論	3後	4		1							
	国際会計論	3前	2		1							
	中小企業金融論	3前	2		1							
	キャリアマーケティング	3後	2		1							
	エアライン・サービス演習Ⅰ	3前	2		1							
	エアライン・サービス演習Ⅱ	3後	2		1							
	インターンシップ	3通	4		1							
	日本経済論Ⅰ	3前	2								1	
	日本経済論Ⅱ	3後	2								1	
小計(21科目)	—	0	46	0	9	1	1	0	0	0	4	
国際科目群	異文化グループワークA	1前	2		1	1						
	異文化グループワークB	1後	2				1				1	
	プロジェクトマネジメント入門	1前	2								1	
	海外スタディⅠ	1通	2				1	1				
	海外スタディⅡ	2通	2			1	1					
	グローバルインターンシップⅠ	1通	2								1	
	グローバルインターンシップⅡ	2通	2		1						1	
	長期国際インターンシップ	2後	16		1	1						
	短期国際インターンシップA	1休	4		1	1					1	
	短期国際インターンシップB	1休	4		1	1					1	
小計(10科目)	—	0	38	0	2	1	2	0	0	0	4	
合計(114科目)	—	0	252	0	11	2	3	0	0	0	49	
卒業要件及び履修方法												
【教養科目】 ・【基礎科目群】から8単位以上修得し、合計で24単位以上修得すること。												
【専門科目】 ・【基礎科目群】、【ゼミナール科目群】及び【実践科目群】から12単位以上、【基本科目群】、【展開科目群】及び【国際科目群】から20単位以上を修得し、合計で80単位以上修得すること。												
上記の要件を満たし、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- 少人数教育実施のため、次の科目の担当教員を増員した。(括弧内は増員した人数)
  - ・「英語ⅠA(3)」、「英語ⅡA(3)」、「英語ⅠB(4)」、「英語ⅡB(4)」、「日本語A(1)」、「日本語B(1)」
- 教育体制の見直しにより、次の科目の担当教員数を変更した。
  - ・「論述・作文A」「論述・作文B」(それぞれ3名から2名に変更)、「哲学」(2名から1名に変更)、「異文化グループワークB」(2名から1名に変更)、「グローバルインターンシップⅡ」(3名から2名に変更)
- 授業運営の都合により次の科目の開講年次を変更した。
  - ・「哲学」(「1前・後」から「1前」に変更)
- 科目教育内容充実のため、次の科目の開講年次を変更した。
  - ・「キャリア数学A」、「プロジェクトマネジメント入門」(それぞれ「1前」から「1前・後」に変更)
- 科目教育内容充実のため、次の科目の担当教員を増員した。(カッコ内は増員した人数)
  - ・「簿記Ⅰ(1)」、「異文化グループワークA(3)」
- 関連科目との接続に配慮して、次の科目の開講年次を変更した。
  - ・「海外スタディⅡ」、「グローバルインターンシップⅡ」(それぞれ「2通」から「1通」に変更)

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	114 科目	0 科目	114 科目	0 科目	114 科目	0 科目	114 科目	
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 <該当なし>

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 <該当なし>

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<該当なし>
--------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{114} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・運動用地（江別第2 キャンパス）は校舎敷 地と別地 ※札幌キャンパスから約4.5km、バスで約 10分 ※江別第1キャンパス から約0.6km、徒歩で 約5分			
	校舎敷地	121,044.37㎡	0㎡	0㎡	121,044.37㎡				
	運動場用地	61,938.45㎡	0㎡	0㎡	61,938.45㎡				
	小 計	182,982.82㎡	0㎡	0㎡	182,982.82㎡				
	そ の 他	16,862.97㎡	0㎡	0㎡	16,862.97㎡				
	合 計	199,845.79㎡	0㎡	0㎡	199,845.79㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	51,567.88㎡ ( 51,567.88㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	51,567.88㎡ ( 51,567.88㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	56 室	59 室	26 室	8 室 (補助職員 0 人)	2 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	経済経営学部 経営学科			15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部全体	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	経済経営学部	100,000 [18,059] (99,352 [17,820])	2,513 [2,416] (2,513 [2,416])	2,381 [2,356] (2,381 [2,356])	2,414 (2,387)	319 (279)	0 (0)		
	計	100,000 [18,059] (99,352 [17,820])	2,513 [2,416] (2,513 [2,416])	2,381 [2,356] (2,381 [2,356])	2,414 (2,387)	319 (279)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	5,509.14㎡		744		800,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体
	6,088.66㎡		野球場、テニスコート5面、弓道場、室内練習場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・ <図書購入費>電子 ジャーナル、データ ベースの整備費（運用 コスト含む）を含む。 ・ <共同研究費等>大 学全体
		教員1人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	9,450千円	9,450千円	9,450千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	1,098千円	1,200千円	1,200千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,070千円	950千円	950千円	950千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、手数料収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	札幌学院大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
経済経営学部	4	300	-	1,200	-	1.12	1.12	-	令和3	-	
経済学科	4	150	-	600	学士(経済学)	1.10	1.10	-	令和3	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1	
経営学科	4	150	-	600	学士(経営学)	1.14	1.14	-	令和3		
経営学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成21		-
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成21	同上	令和3年度学生募集停止
会計ファイナンス学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成21	同上	
経済学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成3	-	
経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	平成3	同上	令和3年度学生募集停止
人文学部	4	230	-	920	-	0.89	0.93	-	昭和52	-	
人間科学科	4	130	-	520	学士(人文学)	0.75	0.83	-	昭和52	江別市文京台11番地	
英語英米文学科	4	50	-	200	学士(人文学)	1.21	1.06	-	昭和52	同上	
臨床心理学科	4	-	-	-	学士(臨床心理学)	-	-	-	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
こども発達学科	4	50	-	200	学士(人文学)	0.95	1.10	-	平成18	同上	
心理学部	4	95	-	380	-	1.00	0.85	-	平成30	-	
臨床心理学科	4	95	-	380	学士(臨床心理学)	1.00	0.85	-	平成30	同上	
法学部	4	150	-	600	-	0.91	0.93	-	昭和59	-	
法律学科	4	150	-	600	学士(法学)	0.91	0.93	-	昭和59	同上	
大学全体	-	775	-	3,100	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	札幌学院大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
法学研究科	2	15	-	30	修士(法学)	0.36	0.33	-	平成7	江別市文京台11番地	
法学専攻(修士課程)											
臨床心理学研究科	2	10	-	20	修士(臨床心理学)	0.25	0.20	-	平成12	同上	
臨床心理学専攻(修士課程)											
地域社会マネジメント研究科	2	20	-	40	修士(地域社会マネジメント学)	0.15	0.20	-	平成15	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1	
地域社会マネジメント専攻(修士課程)											
大学全体	-	45	-	90	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合を含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時  (令和2年)	・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。  遵守事項	・2キャンパス（新札幌及び江別第1）間を循環する専用バスを運行している。その一部は運動場等を備える江別第2キャンパスを経由し、課外活動に参加する学生の移動に配慮している。また、路線バス（約10分）も運行がされている。 ・さらに、令和3年度から運動場にナイター照明設備を設置し、課外活動時間を延長できるようにした。	・履行済（3）
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <経済経営学部 経営学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<該当なし>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

組織的なFD活動の支援及び実施を目的とした「FDセンター」を置き、センターを運営するために「FD委員会」を設けている。メンバーはセンター長（副学長）、教務部長、各学科長等で構成している。

（別紙「札幌学院大学FDセンター規程」を添付）

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### 【2020年度実績】

<第1回FD委員会(2020/5/19開催)> 委員10名（メール配信による持ち回り開催）

《審議事項》

- 2020年度FDセンター事業計画（案）について
  - 2020年度FD活動を推進するための活動補助事業の申請結果並びに採択（案）について
- 《報告事項》  
なし

<第2回FD委員会(2020/6/22開催)> 委員10名（メール配信による持ち回り開催）

《審議事項》

- 2020年度前期 授業評価アンケートについて
  - 2020年度FD活動推進補助事業の再募集結果について
  - 2020年度札幌学院大学における「SDの基本方針及び実施計画」について
- 《報告事項》  
1. アクセシビリティ委員会よりFD・SD研究会開催について

<第3回FD委員会(2020/11/6開催)> 委員10名（メール配信による持ち回り開催）

《審議事項》

- 2021年度FDセンター予算案について
- 《報告事項》  
1. 人間科学科のSA活用報告について  
2. 学生相談室前期活動報告・情報交換会FD/SD研修報告について

<第4回FD委員会(2020/12/17開催)> 委員10名（メール配信による持ち回り開催）

《審議事項》

- 2021年度FDセンター予算第一次査定通知に伴う復活要求について
  - 2020年度授業評価アンケート結果を活用した取組報告会（案）について
  - 2020年度「FDフォーラム-遠隔授業を終えて-」開催（案）について
- 《報告事項》  
1. 2020年度学生相談室主催FD・SD研修/遠隔授業に伴う学生支援と心のケア

<第5回FD委員会(2021/3/9開催)> 委員10名中出席者9名(オンライン会議)

≪審議事項≫

1. 2021年度FDを推進するための活動補助事業の募集について
2. 2020年度事業実績報告について

≪報告事項≫

1. 2021年度予算に係る最終査定について
2. 授業評価アンケートを活用した取組み報告会の実施報告について
3. FDフォーラム-遠隔授業を終えて-の実施報告について
4. 2020年度学生相談室主催FD・SD研修/遠隔授業に伴う学生支援と心のケアの研修報告について
5. 2020年度「FDを推進するための活動補助」の活動報告について

c 委員会の審議事項等

- (1) 学生による授業評価、授業経験交流会等の各学部学科・各研究科のFDの取組みの現状把握及びそれに対する支援・助言・情報提供
- (2) 教職員研修、新任教員オリエンテーション、講演会等の大学全体のFDの取組みの実施
- (3) 教育の質的向上に資する諸施策(プロジェクト)の企画・立案及びそれに関連する情報の収集
- (4) FDについての啓発活動及び情報公開(ニュース、活動報告書等の編集・発行)
- (5) カリキュラム改善や教育改善に対する提言
- (6) 他大学とのFDに関する連携
- (7) FDのための予算に関する事項
- (8) その他、センターの目的達成のために必要な事項

② 実施状況 ((1)~(3)を対比させて記述しています)

a 実施内容

- (1)FD研究会
- (2)先駆的な教育改善取組の予算的支援
- (3)授業改善に有用な啓発活動及び情報公開

b 実施方法

- (1)FD委員会が企画し、メールや学内パンフレットで教員へ案内して開催する。
- (2)教授法(教育方法)の改善に取り組む個人あるいはチームを募り、申請内容をFD委員会にて審査・選定する。
- (3)ホームページを立ち上げ、授業改善に関する情報を発信する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- (1)以下のテーマでFD研究会を開催した。

①2020年9月2日開催(31名参加)

テーマ:「発達障がいのある学生への教育支援」

②2021年2月12日開催(44名参加)

テーマ:「授業評価アンケートを活用した取組み報告会」

③2021年2月15日開催(57名参加)

テーマ:「遠隔授業に伴う学生支援と心のケア」

④2021年2月19日開催(61名参加)

テーマ:「FDフォーラム-2020年度の遠隔授業を終えて-」

- (2)2020年度は1件の応募があり、これを採択した。

(「できたことノート」の活用による新入生の学修適応推進)

- (3)「シラバス作成ガイドライン」「文章指導の手引き」「アクティブラーニング環境活用ガイドライン」「他大学等が提供する参考資料」「本学が所蔵するFD関連図書」等を紹介している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1)本学学生の実情や対応方法、他大学のFD活動の状況を学内へ還元している。
- (2)積極的に授業改善に取り組もうとする教員の動機づけを促すとともに、実践の中から得たノウハウや知見を全学的に共有することによって、大学全体の教育の質向上を図っている。

(3) 必要なときに必要な情報を受け取れるので、教員から学生への還元をスムーズに実行できている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

2020年度は2回（前期7月、後期12月）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・各教員に対しては、担当する授業の結果を個別に通知。
- ・学生に対しては、「各課程の全体集計結果」、「個別科目集計結果」、「教員からのコメント」を学内HPで公開。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

<該当なし>

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経済経営学部経営学科は、「問題発見・問題解決の学問としての経営学を学びの核としながら、会計学と金融論の知識と分析手法を修得することで組織と地域の発展に貢献し、また異文化理解の能力とコミュニケーション能力を高めることでグローバル化に貢献できる人間を育成する」ことを目的としている。

この目的を達成するため、以下の7点をディプロマポリシーに掲げている。

- (1) 人文、社会、自然科学について幅広い教養の基礎知識を身につけている。
- (2) 経営学の基礎概念、企業などの組織経営の仕組みや経営環境の変化に関する基本的な知識を身につけている。
- (3) 経営学の組織経営と経営環境の分析手法を活用した、時代の変化に適応可能なマネジメント能力を身につけている。
- (4) 企業を中心とした組織経営における意思決定に役立つ会計情報の技術と分析能力を身につけている。
- (5) 自らの思考、判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーションとコミュニケーションの技能を修得している。
- (6) ビジネス現場の実践教育を通して、協働の精神、コンプライアンス精神、社会貢献の精神を身につけている。
- (7) ビジネスのグローバル化で求められる分析能力と戦略思考力が身につけている。

このディプロマポリシーを達成するため、具体的には以下の教育を実践している。

(1)に係わっては、3つの科目群から成る教養科目を編成し、「現代社会を生きるための基礎力」、「現代社会を豊かに生きるための教養」、「社会に貢献できる力」の修得を目指している。

(2)～(4)に係わっては、基礎科目群、基本科目群、展開科目群に関連する科目を体系的に編成し、「問題発見・課題解決の学問としての経営学」の修得を目指している。

(5)に係わっては4年間を通した少人数のゼミナールを配置して学生の自己形成を促すとともに、主体的に学ぶ力を育成している。

(6)に係わっては実践科目群を編成し、経営学の応用実践を通して社会で求められる協働、コンプライアンス、社会貢献の精神を養うことを目指している。

(7)に係わっては国際科目群を編成し、ビジネスのグローバル化に対応するための異文化理解やグローバルコミュニケーションの能力を修得することを目指している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年9月 公表予定

b 公表方法

- ・「自己点検・評価年次報告書（PDF版）」を刊行し、大学評価委員及び自己評価実施部会構成員へを配付
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和3年9月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、手続きを進行中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。